

静岡県スタートアップ支援戦略

1 施策方針

- 県内で新たなスタートアップを創出・育成する
- 県外からスタートアップを呼び込むための環境を整備する

2 重点取組

- ① 結びつける施策に力を入れる（支援に結びつける、県内企業・自治体・投資家とのマッチング等）
- ② まずは成功事例をつくり、ロールモデルを横展開する

3 戦略の3つの柱

- <創出> スタートアップを生み出す仕組みづくり
- <育成> スタートアップへの出口を意識したノウハウ提供
- <連携> スタートアップが集まるコミュニティの提供

4 必要な機能と主な施策

柱	必要な機能	主な施策
創出	①起業家教育	○高校生や大学生等が参加する地域部活動方式による広域的な「起業部」の創設 ○スタートアップ経営者等による出前授業や県先端産業プロジェクト等の紹介など、学校教育機関との連携を推進
	②新ビジネス創出支援	○県内自治体の首長や企業経営者等を参加者としたピッチイベントの開催（実証実験の場の提供） ○スタートアップが優先的に調達できる仕組みづくりの検討 ○県内でスタートアップを支援できる専門人材の育成
育成	③ノウハウ提供	○イノベーション拠点「SHIP」にスタートアップ支援の「ワンストップ相談窓口」を設置 ○ビジネスプランコンテストの開催と大きな成長につなげるための伴走支援の実施（成功事例の創出） ○静岡が他県をリードする先端産業や3次元点群データ等の先進的な取組とスタートアップとの融合の促進
	④ファイナンス	○エンジェル投資家やVCとのマッチングの支援 ○資金調達目標の設定の考え方等を習得できる実践的セミナー等の開催
連携	⑤ネットワークハブ	○現存する県内のスタートアップを網羅的に把握し、随時、情報提供や情報収集を実施 ○スタートアップ支援関係者によるネットワークを構築し、「SHIP」がハブ機能の役割を担う
	⑥コミュニティ形成	○各地域においてスタートアップと支援者が有機的につながるコミュニティが形成されるよう、ネットワークを活用したサポート体制を構築 ○スタートアップ成功者との交流や、身近なロールモデルを知るイベントの開催